

月刊地球 2025年1月号

歴史地震学×地震地質学

—史料地震学と地形地質学の接点からさぐる
古地震学のフロンティア—

(Ⅲ) 文献史料と津波堆積物が問う地震研究の新たな視点

1. 小松原 琢・服部健太郎・松多信尚
特集号「歴史地震学×地震地質学」(Ⅲ)
文献史料と津波堆積物が問う地震研究の新たな視点
2. 木村和雄
近世琉球における被害地震・津波のクラスター
—琉球王国正史『球陽』に記された18世紀後半の地異はプレート境界型の巨大地震ではないか?—
3. 都司嘉宣
日記史料にみる東海・南海地震の前兆現象
4. 平川一臣
南海トラフ起源津波堆積物の新記載とその意義
5. 都司嘉宣
死者分布から歴史地震の起震断層を推定する
6. 小松原 琢
地震断層・地表変位を生み出した未知・未認定の活構造に伴う歴史地震

筆者: 1. 琵琶湖博物館・関西大・岡山大, 2. 沖縄高専, 3. 地震津波防災戦略研, 4. 北大, 5. 地震津波防災戦略研, 6. 琵琶湖博物館